

令和 4 年度に実施した研究課題評価の結果について

I 中間評価について

1 評価対象

評価実施年度（R 4）に予算計上している継続研究課題。

ただし、研究開始年度及び終了年度にあるものは除く。

2 評価の目的

これまでの進捗状況や目標達成可能性、研究を取り巻く状況の変化等の観点から、引き続き研究を続けることの適否を判断するための有用な情報を提供する。

3 評価方法

(1) 内部評価委員会による評価を実施。

研究開始から奇数年度はヒアリング形式、偶数年度は書面形式により行う。

(2) 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
必要性	ニーズの状況変化 (A、B、C、D)	政策の転換や産業界・県民生活におけるニーズの変化等、研究を取り巻く状況の変化をみる。
有効性	研究開発効果 (A、B、C、D)	最終目標に到達した場合に、研究の成果が本県産業の振興や県民生活の向上に十分に貢献できるかをみる。
目標達成可能性	進捗状況 (A、B、C、D)	研究計画に従って着実に実施しているか評価時までの研究開発の進捗状況をみる。
	目標達成阻害要因の状況 (A、B、C、D)	技術水準、これまでの研究成果、他の研究主体の研究動向等より、目標達成を阻害する要因の状況をみる。
総合評価 (A、B+、B、C、D)		次年度以降引き続き実施すべきか、また実施する場合の優先度を判断する。

4 総合評価の結果

評価結果		判定基準	課題数
A	当初計画より大きな成果が期待できる	全ての評価項目が A 評価である課題	該当なし
B+	当初計画より成果が期待できる	各評価項目が B 評価以上であり、A 評価が 2 つ又は 3 つの課題	18 課題
B	当初計画どおりの成果が期待できる	各評価項目が B 評価以上である課題 (A、B+評価の課題を除く)	9 課題
C	さらなる努力が必要である	いずれかの評価項目で C 評価がある課題 (D 評価の課題を除く)	該当なし
D	継続する意義は低い	いずれかの評価項目で D 評価がある課題	該当なし
合計			27 課題

Ⅱ 事後評価について

1 評価対象

評価実施年度の前年度（R 3）に研究期間が終了した研究課題。

2 評価の目的

最終到達目標の達成度、研究成果の効果の観点から研究結果を評価し、次期研究計画の策定等に活用する。

3 評価方法

(1) 内部評価委員会による評価を実施。

原則としてヒアリングにより実施。研究が、類似の研究課題に継続される場合は書面により実施。

(2) 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
目標達成	最終到達目標の達成度 (A、B、C)	研究計画で設定した最終到達目標の達成状況を見る。
有効性	研究成果の効果 (A、B、C、D)	研究成果の受益対象者の設定、成果の活用方法を踏まえ、研究成果の効果を評価する。
総合評価 (S、A、B、C、D)		最終到達目標の達成度、研究成果の効果から研究課題を総合的に評価する。

4 総合評価の結果

評価結果		判定基準	課題数
S	当初見込みを上回る成果	2つの評価項目がともに A の課題のうち特に優れる課題	2 課題
A	当初見込みをやや上回る成果	2つの評価項目がともに A の課題（S 評価に該当する課題を除く）	1 課題
B	当初見込みどおりの成果	2つの評価項目とも B 以上の課題（S、A 評価の課題を除く）又は2つの評価項目が A と C の課題	7 課題
C	当初見込みをやや下回る成果	2つの評価項目がともに又はいずれかが C 以下の課題（B、D 評価の課題を除く）	該当なし
D	当初見込みを下回る成果	2つの評価項目が C と D の課題	該当なし
合計			10 課題

5-1 評価結果一覧(中間評価)

評価基準日 令和4年4月1日

No	研究機関名	課 題 名	事業年度	ヒアリング 実施	ニーズ の状況 変化	効果	進捗 状況	目標達成 阻害 要因の 状況	総合評 価	資料
1	総合食品研究センター	美の国からのヘルス&ビューティフーズ発信	R3 ～ R5		A	B	B	B	B	資料4
2	総合食品研究センター	秋田の清酒業界がポストコロナを生き延びるための革新的清酒製造技術開発	R3 ～ R5		B	A	B	B	B	資料4
3	健康環境センター	食品中の残留農薬の分析精度向上と調理による変化に関する研究	R3 ～ R5		B	A	A	A	B+	資料4
4	農業試験場	第5期次世代銘柄米品種の開発	R1 ～ R5	○	A	A	B	B	B+	資料4
5	農業試験場	野菜の競争力強化を目指した新栽培技術の開発	R1 ～ R5		B	A	B	A	B+	資料4
6	農業試験場	先端技術を活用した新たな園芸作物病害虫防除技術の確立	R1 ～ R5		A	B	B	A	B+	資料4
7	農業試験場	花きの市場競争力強化を目指した新栽培技術の開発	R2 ～ R6	○	A	A	B	A	B+	資料4
8	農業試験場	野菜オリジナル品種の育成と親系統等の増殖	R2 ～ R6	○	A	A	B	B	B+	資料4
9	農業試験場	実需に応じた秋田米生産を支える病害虫防除技術の確立	R3 ～ R7		A	B	B	A	B+	資料4
10	農業試験場	労働力不足に対応した園芸品目導入に向けた推進方策	R3 ～ R5		A	B	B	B	B	資料4
11	果樹試験場	果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜	H28 ～ R7	○	B	A	B	B	B	資料4
12	果樹試験場	多雪地帯におけるリンゴジョイント栽培の生産性及び耐雪性評価	R2 ～ R6	○	A	A	B	B	B+	資料4
13	果樹試験場	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適應する品種の選抜	R3 ～ R12		B	A	B	B	B	資料4
14	畜産試験場	牛肉におけるモモの脂肪交雑を改善する肥育技術の開発	R1 ～ R5		A	A	B	A	B+	資料4
15	畜産試験場	哺乳方法および飼料給与量が黒毛和種子牛の発育に及ぼす影響	R3 ～ R5		A	A	B	A	B+	資料4
16	畜産試験場	比内地鶏の肉質及びおいしさの日齢変化に関する研究	R3 ～ R6		A	A	B	A	B+	資料4
17	畜産試験場	稲わらの調製方法の違いが肥育牛に与える影響の検討	R3 ～ R7		A	A	B	A	B+	資料4
18	水産振興センター	ハタハタの資源変動と漁場形成に関する研究	R1 ～ R5		A	B	B	B	B	資料4
19	水産振興センター	湖沼河川における水産資源の安定化と活用に関する研究	R1 ～ R5		B	B	B	B	B	資料4
20	水産振興センター	漁業・流通支援システムの構築に関する研究	R2 ～ R6	○	A	A	A	B	B+	資料4
21	水産振興センター	種苗生産・放流技術の高度化に関する研究	R2 ～ R6	○	A	A	B	B	B+	資料4

No	研究機関名	課 題 名	事業年度	ヒアリング 実施	ニーズ の状況 変化	効果	進捗 状況	目標達 成阻害 要因の 状況	総合評 価	資料
22	水産振興センター	内水面重要魚種の増殖技術の高度化に関する研究	R2 ～ R6	○	A	A	B	A	B+	資料4
23	林業研究研修センター	秋田スギの低密度植栽に対応した新施業体系の確立	R2 ～ R6	○	A	A	B	A	B+	資料4
24	林業研究研修センター	菌床シイタケのスマート栽培技術の開発	R1 ～ R5		B	B	B	A	B	資料4
25	林業研究研修センター	低コスト造林を実現する秋田スギの開発	R3 ～ R7		A	A	B	A	B+	資料4
26	産業技術センター	微細構造光学素子の基礎技術の確立	R3 ～ R5		B	B	B	B	B	資料4
27	産業技術センター	5Gを用いたテレプレゼンスシステムの研究開発	R3 ～ R5		A	A	A	B	B+	資料4

5-2 評価結果一覧(事後評価)

評価基準日 令和4年4月1日

No	研究機関名	課 題 名	事業年度	ヒアリング 実施	目 標 達成度	効果	総合 評価	資料
1	総合食品研究センター	米菓製造における加工技術開発	R1 ~ R3	○	B	B	B	資料5
2	総合食品研究センター	次世代型あめこうじの開発と秋田米を活用した発酵食品への応用	R1 ~ R3	○	B	B	B	資料5
3	総合食品研究センター	蔵独自の住みつき酵母を利用した味噌などの発酵食品の開発	R1 ~ R3	○	A	B	B	資料5
4	総合食品研究センター	県産原料を活用した新規アルコール飲料の開発と高品質化	R1 ~ R3	○	A	A	S	資料5
5	総合食品研究センター	“Enjoy! アクティブシニアライフ”をサポートする食の研究開発	R1 ~ R3	○	A	B	B	資料5
6	農業試験場	多収性品種を用いた業務・加工用米の省力安定多収生産技術の確立	H29 ~ R3	○	A	A	A	資料5
7	農業試験場	県外からの就農者増加策ならびに雇用型経営体像の解明	R1 ~ R3	○	B	B	B	資料5
8	果樹試験場	県内産高品質果実の長期貯蔵による端境期出荷技術の開発	R1 ~ R3	○	B	B	B	資料5
9	水産振興センター	秋田ブランドを確立する浅海生産力利用技術の開発	H29 ~ R3	○	B	B	B	資料5
10	林業研究研修センター	再造林における樹種選択と多機能型森林育成技術の開発	H29 ~ R3	○	A	A	S	資料5

5-3 令和4年度研究課題評価内部評価委員会委員名簿

機関名	評価委員会 開催日	評価委員の所属・職名	氏 名	代理出席
総合 食品研究 センター	6月10日(金)	食のあきた推進課 課長 総合食品研究センター 所長 総合食品研究センター 企画管理室長 総合食品研究センター 食品加工研究所長 総合食品研究センター 醸造試験場長 総合食品研究センター 食品加工研究所 主席研究員 総合食品研究センター 醸造試験場 主席研究員	黒澤 正弘 柴田 靖 渡辺 美伸 渡辺 隆幸 進藤 昌 戸松 誠 畠 恵司	
健康環境 センター	6月22日(水)	生活環境部 環境管理課 課長 生活環境部 生活衛生課 課長 健康環境センター 所長 健康環境センター 企画管理室 室長	石川 亨 永須 昭夫 佐藤 和彦 中嶋 志保子	
農業 試験場	5月12日(木)	農林水産部参事(兼)農林政策課長 水田総合利用課 課長 園芸振興課 課長 農業試験場 場長 農業試験場 企画経営室長	本藤 昌泰 草薨 郁雄 加賀谷 由博 佐藤 孝夫 小松 修	
果樹 試験場	5月12日(木)	農林政策課 政策監 園芸振興課 課長 果樹試験場 場長 果樹試験場 総務企画室長	佐々木 功 加賀谷 由博 上田 仁悦 瀬田川 守	農林水産部参事 (兼)農林政策課長代理
畜産 試験場	5月6日(金)	農林水産部 参事(兼)農林政策課長 畜産振興課 課長 畜産試験場 場長 畜産試験場 総務企画室長	本藤 昌泰 畠山 英男 長谷部 毅 小沼 成尚	
水産振興 センター	5月12日(木)	農林政策課 スマート農業推進監 水産漁港課 課長 水産振興センター 所長 水産振興センター 総務企画室長(兼)資源部長	川本 朋彦 阿部 浩樹 水谷 寿 中林 信康	農林水産部参事 (兼)農林政策課長
林業 研究研修 センター	5月12日(木)	林業研究研修センター 所長 農林政策課 スマート農業推進監 林業木材産業課 課長 森林整備課 課長	戸部 信彦 川本 朋彦 澤田 智志 三森 道哉	農林水産部参事 (兼)農林政策課長代理
産業技術 センター	6月10日(金)	所長 上級主席研究員(兼)部長 企画事業部長 先進プロセス開発部長 素形材開発部長 電子光応用開発部長 地域産業振興課長	佐藤 明 千葉 隆 菅原 靖 内田 富士夫 工藤 素 梁瀬 智 齊藤 大幸	